

小早川家の秋 (1961)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 103分
初公開日 1961/10/29
公開情報 東宝

【解説】

小津安二郎が野田高梧とともに書き下ろしたオリジナル脚本を自ら監督した。小津が松竹ではなく東宝で監督した唯一の作品。

京都の伏見にある造り酒屋「小早川」は、当主である小早川万兵衛が年老いたこともあり、娘婿の久夫に引き継がれていた。長男は亡くなっており、嫁の秋子は画廊に勤めに出ている。万兵衛の様子がおかしいことに気づいた娘夫婦は、番頭の六太郎に後をつけさせるがあえなく失敗。娘夫婦が調べると、万兵衛はかつて愛人だった佐々木つねとその娘の百合のところへ通っていたことがわかる。秋子には再婚話が持ち上がるが、ふんざりがつかない。次女の紀子もお見合いをしたのだが、大学時代の友人に想いを寄せているため決められない。

【クレジット】

監督	小津安二郎	
製作	藤本真澄	
	金子正且	
	寺本忠弘	
脚本	野田高梧	
	小津安二郎	
撮影	中井朝一	
美術	下河原友雄	
編集	岩下広一	
音楽	黛敏郎	Toshiro Mayuzumi
助監督	竹前重吉	
出演	中村鴈治郎	小早川万兵衛
	原節子	長男の嫁秋子
	司葉子	次女紀子
	新珠三千代	長女文子
	小林桂樹	その夫久夫
	島津雅彦	息子正夫
	森繁久彌	磯村英一郎
	浪花千栄子	佐々木つね
	団令子	娘百合子
	杉村春子	加藤しげ
	加東大介	北川弥之助
	東郷晴子	妻照子

白川由美
宝田明
山茶花究
藤木悠
笠智衆
望月優子
環三千世
遠藤辰雄
内田朝雄

中西多佳子
寺本忠
店員山口信吉
店員丸山六太郎
農夫
その妻
ホステス
万兵衛の弟
医者